



Cisco Unified MeetingPlace Express へのデータのインポート

改訂：2006年10月18日、OL-12185-01-J

既存のユーザ プロファイルまたはユーザ グループの情報を、別のデータベースから Cisco Unified MeetingPlace Express にインポートできます。インポート元のデータベースには、Cisco Unified CallManager、電子メール ディレクトリ、人事データベースなどがあります。Cisco Conference Connection または別の Cisco Unified MeetingPlace Express サーバから会議情報をインポートすることもできます。

初期データベースをインポートして、その後も常に最新の状態を維持するプロセスを作成するには、事前の計画が必要ですが、全体的に見れば時間の節約になります。発生しうる状況を事前に予想しておけば、予定外のリクエストにわずらわされることなく、プロセスをスムーズに運営できます。

この項の内容は、次のとおりです。

- [データのインポートに関する制約事項 \(P. 9-2\)](#)
- [インポート ファイルに関する要件 \(P. 9-4\)](#)
- [データのインポートの方法 \(P. 9-5\)](#)
- [インポート ファイルの例 \(P. 9-15\)](#)

この章の内容は、Cisco Unified MeetingPlace Express システムのみに適用されます。Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムには適用されません。

データのインポートに関する制約事項

この項の内容は、次のとおりです。

- ユーザグループのインポートに関する制約事項 (P. 9-2)
- ユーザプロファイルのインポートに関する制約事項 (P. 9-2)
- 会議のインポートに関する制約事項 (P. 9-2)

ユーザグループのインポートに関する制約事項

インポートファイルに `tzcode` ヘッダーフィールドが含まれている場合は、インポートファイル内のすべてのユーザグループに対して、そのフィールドに有効な値が入力されている必要があります。`tzcode` の値が正しくない場合や空白の場合は、そのユーザグループはインポートされず、エラーがログに記録されます。

ユーザプロファイルのインポートに関する制約事項

- インポートファイルに `tzcode` ヘッダーフィールドが含まれている場合は、インポートファイル内のすべてのユーザプロファイルに対して、そのフィールドに有効な値が入力されている必要があります。`tzcode` の値が正しくない場合や空白の場合は、そのユーザプロファイルはインポートされず、エラーがログに記録されます。
- インポートファイルに `grpname` と `grpnum` のいずれかまたは両方のヘッダーフィールドが含まれている場合は、インポートファイル内のすべてのユーザプロファイルに対して、これらのフィールドの値が正しく入力されている必要があります。次の点に注意してください。
 - ユーザプロファイルをインポートする前にユーザグループをインポートします。
 - インポートファイル内の `grpname` フィールドまたは `grpnum` フィールドが空白の場合は、そのユーザプロファイルはインポートされず、エラーがログに記録されます。
 - `grpname` フィールドや `grpnum` フィールドで指定されているユーザグループが Cisco Unified MeetingPlace Express データベース内に存在しない場合は、そのユーザプロファイルはインポートされず、エラーがログに記録されます。
- インポートファイルに、`grpname` と `grpnum` のどちらのヘッダーフィールドも含まれていない場合は、インポートされたユーザプロファイルは事前設定された「System」グループに自動的に割り当てられます。

関連項目

- ユーザグループのインポート (P. 9-6)
- ユーザプロファイルのインポート (P. 9-9)
- ユーザプロファイルについての情報のエクスポート (P. 10-6)

会議のインポートに関する制約事項

- 次の条件のいずれかが真の場合は、インポートされた会議のスケジュールを作成することはできません。
 - インポートファイル内の `[SchedulerUid]` フィールドが空白であるが、`[Import Meetings]` ページの `[Scheduler user ID]` フィールドで代替りのユーザ名が設定されていない。
 - インポートされる会議に使用可能な音声ポートまたは Web ポートが不足している。
- `[SchedulerUid]` フィールドのユーザ名が既存のユーザプロファイルに対応していない場合は、インポートプロセスによって、`SchedulerUid` の内容を `[Import Meetings]` ページの `[Scheduler user ID]` フィールドの入力値に置き換えます。

- 継続会議および定例会議のスケジュールは、現時点から作成されます。つまり、過去の会議情報はインポートされません。
- 定例会議を Cisco Unified MeetingPlace Express にインポートした場合、インポート ファイル内の各回がそれぞれ独立した定例パターンなしの会議としてスケジュールされます。

関連項目

- [会議のインポート \(P. 9-11\)](#)
- [会議についての情報のエクスポート \(P. 10-8\)](#)

インポート ファイルに関する要件

次に示す要件は、すべてのタイプのインポート ファイルに適用されます。

- インポート ファイルの形式は Comma-Separated Value (CSV; カンマ区切り形式) でなければなりません。
- インポート ファイルの最初の行には、以降の行でデータが現れる順序を示すヘッダー フィールドが入力されている必要があります。ヘッダー フィールドの順序は任意です。
インポート ファイルの 2 行目以降の内容は、実際のデータです。インポート ファイルの 1 行目で指定された順にデータが入力されている必要があります。
- インポート ファイルには、表 9-1 に示す必須のヘッダーが含まれている必要があります。

表 9-1 インポート ファイルの必須のヘッダー

インポート ファイルのタイプ	目的	必須のヘッダー フィールド
ユーザ グループ	追加または削除	<ul style="list-style-type: none"> • <code>grpnum</code> • <code>Name</code>
ユーザ プロファイル	追加	<ul style="list-style-type: none"> • <code>EncryptedProfilePWD</code> または <code>prfpwd</code> • <code>EncryptedUserPWD</code> または <code>upwd</code> • <code>prfnum</code> • <code>uid</code>
	削除	<ul style="list-style-type: none"> • <code>prfnum</code> • <code>uid</code>
会議	スケジュール作成またはキャンセル	<ul style="list-style-type: none"> • <code>DialableConfID</code> • <code>ReqLengthOfConf</code> • <code>StartDateTimeOfConf</code>

インポート ファイルに含まれていない、オプションのヘッダー フィールドについては、デフォルト値が使用されます。使用可能なインポート フィールドの説明と値については、次の項を参照してください。

- [グループ情報ページ](#)の出力フィールド：ユーザ グループのインポート用 (P. C-79)
- [プロフィール情報ページ](#)の出力フィールド：ユーザ プロファイルのインポート用 (P. C-134)
- [会議の情報ページ](#)の出力フィールド：会議のインポート用 (P. C-115)
- インポート ファイルに関して、次の点に注意してください。
 - 値の先頭または末尾にあるスペースは、インポート プロセスで削除されます。ただし、値と先頭または末尾のスペースが二重引用符 (" ") で囲まれている場合を除きます。値の途中のスペース、たとえば課金コードの値「Tech Support」のスペースは、削除されずにインポートされます。
 - 値の中でカンマを使用する場合は、二重引用符で囲む必要があります (たとえばユーザ ID の "Smith, John")。
 - すべてのテキストは、大文字小文字が区別されます。

関連項目

- [インポート ファイルの例](#) (P. 9-15)
- [インポート ファイルのセットアップ](#) (P. 9-5)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express へのデータのインポート](#) (P. 9-1)

データのインポートの方法

この項の内容は、次のとおりです。

- インポートファイルのセットアップ (P. 9-5)
- ユーザグループのインポート (P. 9-6)
- インポートによるユーザグループの削除 (P. 9-7)
- ユーザプロファイルのインポート (P. 9-9)
- インポートによるユーザプロファイルの削除 (P. 9-10)
- 会議のインポート (P. 9-11)
- インポートによる会議のキャンセル (P. 9-12)
- Cisco Conference Connection の会議のインポート (P. 9-13)

インポートファイルのセットアップ

Cisco Unified MeetingPlace Express システムに情報をインポートするには、初めに次の手順を実行してインポートファイルを設定します。

始める前に

「インポートファイルに関する要件」(P. 9-4) を参照してください。

手順

ステップ 1 次のいずれかの項の手順に従い、類似のファイルをエクスポートします。

- ユーザグループについての情報のエクスポート (P. 10-7)
- ユーザプロファイルについての情報のエクスポート (P. 10-6)
- 会議についての情報のエクスポート (P. 10-8)

たとえば、ユーザグループをインポートしようとしている場合は、初めに既存のユーザグループを Cisco Unified MeetingPlace Express からエクスポートします。このエクスポートファイルを、インポートファイルのテンプレートとして使用します。



(注) [Include field header names] フィールドで、必ず [Yes] を選択してください。

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、[Export to File] をクリックして、エクスポートされたファイルを保存します。保存されるファイルには拡張子 .csv を付けます。

ステップ 3 PC で Excel などのスプレッドシートアプリケーションを開きます。

ステップ 4 [ステップ 2](#) で保存したファイルを開きます。

ステップ 5 スプレッドシートアプリケーションでは、必須のヘッダーが最初の行に表示され、以降の行にはデータが表示されます。次のいずれかを実行します。

- 既存のエントリを修正する場合は、修正の必要のない行を削除します。ヘッダーの行は削除しないでください。
- すべてのエントリを新たに追加し直す場合は、ヘッダー行を除くすべての行を削除します。

ステップ 6 インポートする個々のグループ（またはユーザまたは会議）について、該当するフィールドの情報を入力または修正します。

フィールドに入力すべき値が不明な場合は、列全体を削除することをお勧めします（必須フィールドの場合を除く）。フィールドを空白のままにすると、デフォルト値が使用されますが、その値は意図した値とは異なる可能性があります。各フィールドの説明と値については、次の項を参照してください。

- [プロフィール情報ページの出力フィールド：ユーザプロフィールのインポート用 \(P. C-134\)](#)
- [グループ情報ページの出力フィールド：ユーザグループのインポート用 \(P. C-79\)](#)
- [会議の情報ページの出力フィールド：会議のインポート用 \(P. C-115\)](#)

ステップ 7 ファイルを保存して閉じます。

ステップ 8 次のいずれかのタスクに進みます。

- [ユーザグループのインポート \(P. 9-6\)](#)
- [インポートによるユーザグループの削除 \(P. 9-7\)](#)
- [ユーザプロフィールのインポート \(P. 9-9\)](#)
- [インポートによるユーザプロフィールの削除 \(P. 9-10\)](#)
- [会議のインポート \(P. 9-11\)](#)
- [インポートによる会議のキャンセル \(P. 9-12\)](#)

関連項目

- [インポートファイルの例 \(P. 9-15\)](#)

ユーザグループのインポート

この項では、インポートプロセスを使用して複数のユーザグループを Cisco Unified MeetingPlace Express に追加する方法を説明します。



(注) 代わりに、ユーザグループを 1 つずつ追加する場合は、「[ユーザグループの手動追加 \(P. 8-26\)](#)」を参照してください。

始める前に

インポートファイルを作成します。次の項を参照してください。

- [インポートファイルに関する要件 \(P. 9-4\)](#)
- [インポートファイルのセットアップ \(P. 9-5\)](#)
- [ユーザグループのインポートファイルの例 \(P. 9-15\)](#)

制約事項

「[ユーザグループのインポートに関する制約事項 \(P. 9-2\)](#)」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。
- ステップ 2** ページの上部にある [管理] をクリックします。
- ステップ 3** ページの左側で次の操作を実行します。
- [Maintenance] をクリックします。
 - [Import Information] をクリックします。
 - [Group Profiles] をクリックします。
- ステップ 4** 各フィールドに値を入力します。これらのフィールドの説明は、「[グループプロファイルのインポート ページのフィールド](#)」(P. C-88) を参照してください。
- ステップ 5** [Execute] をクリックします。
- ステップ 6** [OK] をクリックして、レコードインポートの要求を確定します。
- ステップ 7** インポートのステータスが表示されます。インポート ログへのリンクも表示されます。
- このリンクをクリックするとインポート ログが表示されます。印刷することもできます。
 - [OK] ボタンをクリックするとページが閉じます。
[OK] をクリックした後は、インポート ログを表示したり取り出したりすることはできなくなります。
-

関連項目

- [インポートによるユーザグループの削除](#) (P. 9-7)
- [概要：グループプロファイルのインポート](#) (P. C-88)
- [概要：グループ情報](#) (P. C-79)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express へのデータのインポート](#) (P. 9-1)

インポートによるユーザグループの削除

この項では、インポート プロセスを使用して複数のユーザグループを Cisco Unified MeetingPlace Express から削除する方法を説明します。



(注) 代わりに、ユーザグループを1つずつ削除する場合は、「[ユーザグループの削除](#)」(P. 8-29) を参照してください。

始める前に

- インポートファイルを作成します。次の項を参照してください。
 - [インポートファイルに関する要件](#) (P. 9-4)
 - [インポートファイルのセットアップ](#) (P. 9-5)
 - [ユーザグループのインポートファイルの例](#) (P. 9-15)

- インポート ファイルに、削除対象のユーザ グループだけが含まれていることを確認します。

制約事項

- System グループを削除することはできません。
- 「ユーザ グループのインポートに関する制約事項」(P. 9-2) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。
- ステップ 2** ページの上部にある [管理] をクリックします。
- ステップ 3** ページの左側で次の操作を実行します。
- a. [Maintenance] をクリックします。
 - b. [Import Information] をクリックします。
 - c. [Group Profiles] をクリックします。
- ステップ 4** 各フィールドに値を入力します。これらのフィールドの説明は、「グループ プロファイルのインポート ページのフィールド」(P. C-88) を参照してください。
- [Action to perform] フィールドでは、必ず「Delete groups from system」を選択してください。
 - [Overwrite duplicate information?] フィールドは無視してください。このフィールドの値は、このプロセスには影響しません。
- ステップ 5** [Execute] をクリックします。
- ステップ 6** [OK] をクリックして、レコードインポートの要求を確定します。
- ステップ 7** インポートのステータスが表示されます。インポート ログへのリンクも表示されます。
- このリンクをクリックするとインポート ログが表示されます。印刷することもできます。
 - [OK] ボタンをクリックするとページが閉じます。
- [OK] をクリックした後は、インポート ログを表示したり取り出したりすることはできなくなります。
-

関連項目

- ユーザ グループのインポート (P. 9-6)
- 概要：ユーザ グループの管理 (P. C-167)
- 概要：グループ プロファイルのインポート (P. C-88)
- 概要：グループ情報 (P. C-79)
- Cisco Unified MeetingPlace Express へのデータのインポート (P. 9-1)

ユーザ プロファイルのインポート

この項では、インポート プロセスを使用して複数のユーザ プロファイルを Cisco Unified MeetingPlace Express に追加する方法を説明します。



(注)

代わりに、ユーザ プロファイルを 1 つずつ追加する場合は、「[ユーザ プロファイルの手動追加 \(P. 8-30\)](#)」を参照してください。

始める前に

インポート ファイルを作成します。次の項を参照してください。

- [インポート ファイルに関する要件 \(P. 9-4\)](#)
- [インポート ファイルのセットアップ \(P. 9-5\)](#)
- [ユーザ プロファイルのインポート ファイルの例 \(P. 9-15\)](#)

制約事項

「[ユーザ プロファイルのインポートに関する制約事項 \(P. 9-2\)](#)」を参照してください。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。
- ステップ 2** ページの上部にある [管理] をクリックします。
- ステップ 3** ページの左側で次の操作を実行します。
 - a. [Maintenance] をクリックします。
 - b. [Import Information] をクリックします。
 - c. [User Profiles] をクリックします。
- ステップ 4** 各フィールドに値を入力します。これらのフィールドの説明は、「[ユーザ プロファイルのインポート ページのフィールド \(P. C-92\)](#)」を参照してください。
- ステップ 5** [Execute] をクリックします。
- ステップ 6** [OK] をクリックして、レコード インポートの要求を確定します。
- ステップ 7** インポートのステータスが表示されます。インポート ログへのリンクも表示されます。
 - このリンクをクリックするとインポート ログが表示されます。印刷することもできます。
 - [OK] ボタンをクリックするとページが閉じます。
[OK] をクリックした後は、インポート ログを表示したり取り出したりすることはできなくなります。

関連項目

- [インポートによるユーザ プロファイルの削除 \(P. 9-10\)](#)

- 概要：ユーザ プロファイルのインポート (P. C-92)
- 概要：プロフィール情報 (P. C-134)
- Cisco Unified MeetingPlace Express へのデータのインポート (P. 9-1)

インポートによるユーザ プロファイルの削除

この項では、インポート プロセスを使用して複数のユーザ プロファイルを Cisco Unified MeetingPlace Express から削除する方法を説明します。



(注)

代わりに、ユーザ プロファイルを 1 つずつ削除する場合は、「[ユーザ プロファイルの削除](#)」(P. 8-33) を参照してください。

始める前に

- インポート ファイルを作成します。次の項を参照してください。
 - [インポート ファイルに関する要件](#) (P. 9-4)
 - [インポート ファイルのセットアップ](#) (P. 9-5)
 - [ユーザ プロファイルのインポート ファイルの例](#) (P. 9-15)
- インポート ファイルに、削除対象のユーザ プロファイルだけが含まれていることを確認します。

制約事項

- 事前設定されている管理者プロフィールと Guest プロファイルは削除できません。また、この操作を行うユーザが現在ログインに使用しているユーザ プロファイルを削除することはできません。
- 「[ユーザ プロファイルのインポートに関する制約事項](#)」(P. 9-2) を参照してください。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。
- ステップ 2** ページの上部にある [管理] をクリックします。
- ステップ 3** ページの左側で次の操作を実行します。
 - [Maintenance] をクリックします。
 - [Import Information] をクリックします。
 - [User Profiles] をクリックします。
- ステップ 4** 各フィールドに値を入力します。これらのフィールドの説明は、「[ユーザ プロファイルのインポート ページのフィールド](#)」(P. C-92) を参照してください。[Action to perform] フィールドでは、必ず [Delete users from system] を選択してください。
- ステップ 5** [Execute] をクリックします。
- ステップ 6** [OK] をクリックして、レコードインポートの要求を確定します。

ステップ7 インポートのステータスが表示されます。インポート ログへのリンクも表示されます。

- このリンクをクリックするとインポート ログが表示されます。印刷することもできます。
- [OK] ボタンをクリックするとページが閉じます。
[OK] をクリックした後は、インポート ログを表示したり取り出したりすることはできなくなります。

関連項目

- ユーザ プロファイルのインポート (P. 9-9)
- 概要：ユーザ プロファイルのインポート (P. C-92)
- 概要：プロフィール情報 (P. C-134)
- Cisco Unified MeetingPlace Express へのデータのインポート (P. 9-1)

会議のインポート

この項では、インポートを使用して会議のスケジュールを作成する方法を説明します。エンドユーザ Web インターフェイスで会議のスケジュールを個別に作成することも可能ですが、ここで説明する手順を実行すると、複数の会議のスケジュールを一度に作成できます。

始める前に

インポート ファイルを作成します。次の項を参照してください。

- インポート ファイルに関する要件 (P. 9-4)
- インポート ファイルのセットアップ (P. 9-5)
- 会議のインポート ファイルの例 (P. 9-15)

制約事項

「会議のインポートに関する制約事項」(P. 9-2) を参照してください。

手順

ステップ1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ2 ページの上部にある [管理] をクリックします。

ステップ3 ページの左側で次の操作を実行します。

- a. [Maintenance] をクリックします。
- b. [Import Information] をクリックします。
- c. [Meetings] をクリックします。

ステップ4 各フィールドに値を入力します。これらのフィールドの説明は、「[会議のインポート ページのフィールド](#)」(P. C-90) を参照してください。

ステップ5 [Execute] をクリックします。

ステップ6 [OK] をクリックして、会議レコード インポートの要求を確定します。

ステップ7 インポートのステータスが表示されます。会議インポート ログへのリンクも表示されます。

- このリンクをクリックするとインポート ログが表示されます。印刷することもできます。
- [OK] ボタンをクリックするとページが閉じます。
[OK] をクリックした後は、会議インポート ログを表示したり取り出したりすることはできなくなります。

関連項目

- [インポートによる会議のキャンセル \(P. 9-12\)](#)
- [概要：会議のインポート \(P. C-90\)](#)
- [概要：会議の情報 \(P. C-115\)](#)
- [会議の参加者についての情報のエクスポート \(P. 10-9\)](#)

インポートによる会議のキャンセル

この項では、インポート プロセスを使用して Cisco Unified MeetingPlace Express データベース内の会議をキャンセルする方法を説明します。エンドユーザ Web インターフェイスで会議を個別にキャンセルすることも可能ですが、ここで説明する手順を実行すると、複数の会議を一度にキャンセルできます。

始める前に

- インポート ファイルを作成します。次の項を参照してください。
 - [インポート ファイルに関する要件 \(P. 9-4\)](#)
 - [インポート ファイルのセットアップ \(P. 9-5\)](#)
 - [会議のインポート ファイルの例 \(P. 9-15\)](#)
- インポート ファイルに、キャンセル対象の会議だけが含まれていることを確認します。

制約事項

「[会議のインポートに関する制約事項](#)」(P. 9-2) を参照してください。

手順

ステップ1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ2 ページの上部にある [管理] をクリックします。

ステップ3 ページの左側で次の操作を実行します。

- a. [Maintenance] をクリックします。
- b. [Import Information] をクリックします。
- c. [Meetings] をクリックします。

ステップ4 各フィールドに値を入力します。これらのフィールドの説明は、「[会議のインポート ページのフィールド](#)」(P. C-90) を参照してください。

[Action to perform] フィールドでは、必ず「Cancel meetings」を選択してください。

ステップ 5 [Execute] をクリックします。

ステップ 6 インポートのステータスが表示されます。会議インポート ログへのリンクも表示されます。

- このリンクをクリックするとインポート ログが表示されます。印刷することもできます。
- [OK] ボタンをクリックするとページが閉じます。
[OK] をクリックした後は、会議インポート ログを表示したり取り出したりすることはできなくなります。

関連項目

- [会議のインポート \(P. 9-11\)](#)
- [概要：会議のインポート \(P. C-90\)](#)
- [概要：会議の情報 \(P. C-115\)](#)

Cisco Conference Connection の会議のインポート

この項では、定例会議および将来の会議を Cisco Conference Connection データベースからインポートする方法を説明します。

始める前に

- Cisco Unified MeetingPlace Express システムの使用可能音声ポートの数が、会議のインポート元である Cisco Conference Connection システムの使用可能音声ポートの数以上であることを確認してください。
- インポートされる会議に Web 会議機能を持たせるには、Cisco Unified MeetingPlace Express システムの使用可能 Web ポートの数が、Cisco Conference Connection からインポートされる会議に対して十分であることを確認してください。
- Cisco Conference Connection から Cisco Unified MeetingPlace Express に会議をインポートすると、インポートプロセスを実行するユーザが自動的にその会議のスケジュール担当者となります。
インポートされる会議に Web 会議機能を持たせないようにする場合は、会議をインポートするユーザのプロファイルの [\[Host web meetings with\]](#) フィールドが「Participant list only (no licenses required)」に設定されていることを確認してください。
- 会議情報を Cisco Conference Connection からエクスポートします。『[Cisco Unified MeetingPlace Express インストレーションアップグレードガイド](#)』の「Upgrading Cisco Unified MeetingPlace Express」の章を参照してください。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ 2 ページの上部にある [管理] をクリックします。

ステップ 3 ページの左側で次の操作を実行します。

- a. [Maintenance] をクリックします。
- b. [Import Information] をクリックします。
- c. [Cisco Conference Connection] をクリックします。

- ステップ 4** 各フィールドの値を入力または変更します。これらのフィールドの説明は、「[Cisco Conference Connection 会議のインポート ページのフィールド](#)」 (P. C-86) を参照してください。
- ステップ 5** [Execute] をクリックします。
- ステップ 6** [OK] をクリックして、レコードインポートの要求を確定します。
- ステップ 7** インポートのステータスが表示されます。インポート ログへのリンクも表示されます。
- このリンクをクリックするとインポート ログが表示されます。印刷することもできます。
 - [OK] ボタンをクリックするとページが閉じます。
[OK] をクリックした後は、インポート ログを表示したり取り出したりすることはできなくなります。
-

関連項目

- [スケジュールされた会議および予約不要の会議の音声ポートについて](#) (P. 5-9)
- [スケジュールされた会議および予約不要の会議の Web ポートについて](#) (P. 5-10)
- 概要 : [Cisco Conference Connection 会議のインポート](#) (P. C-86)

インポート ファイルの例

この項の内容は、次のとおりです。

- ユーザグループのインポートファイルの例 (P. 9-15)
- ユーザプロファイルのインポートファイルの例 (P. 9-15)
- 会議のインポートファイルの例 (P. 9-15)

ユーザグループのインポートファイルの例

これは、ユーザグループをインポートするための基本的なインポートファイルの例です。

```
grpnum, Name, ContactID, CanOutdial
1, group1, username3, Yes
2, group2, username3, No
```



(注) 必須およびオプションのヘッダーフィールドの一覧、および各フィールドの説明は、「[グループ情報ページの出力フィールド：ユーザグループのインポート用](#)」(P. C-79)を参照してください。

ユーザプロファイルのインポートファイルの例

これは、ユーザプロファイルをインポートするための基本的なインポートファイルの例です。

```
uid, upwd, prfnum, prfpwd, fnm, lnm, phnum, ctctuid, grpname
username1, password1, 206, 12345, terry, smith, 5551234, username3, system
username2, password2, 207, 23456, robin, smith, 5552345, username3, system
```



(注) 必須およびオプションのヘッダーフィールドの一覧、および各フィールドの説明は、「[プロファイル情報ページの出力フィールド：ユーザプロファイルのインポート用](#)」(P. C-134)を参照してください。

会議のインポートファイルの例

これは、会議をインポートするための基本的なインポートファイルの例です。

```
StartDateTimeOfConf, DialableConfID, ReqLengthOfConf, allowguestoutdial
04/05/2006 14:00, 12321, 120, No
04/05/2006 16:00, 23432, 60, No
```



(注) 必須およびオプションのヘッダーフィールドの一覧、および各フィールドの説明は、「[会議の情報ページの出力フィールド：会議のインポート用](#)」(P. C-115)を参照してください。

関連項目

- インポートファイルに関する要件 (P. 9-4)
- データのインポートの方法 (P. 9-5)

■ インポート ファイルの例